

国土交通省 航空局 登録講習機関 / HP掲載管理・講習団体  
一般社団法人 DPCA

## **DPCAチーフインストラクター採点評価基準表(指導細目)150項目**



行動チェック													
No.	検定項目	評価基準項目	評価					評価					備考
29	人間性	受講者は当然のこと、関係者・講師間と接する際に気配り、思いやりの行動ができていますか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
30		「おかげさま」という感謝の気持ちを持ち続けているか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
31		関わっていただける全ての方に対して「役立つ」「協力する」という行動ができたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
32		明るく元気であるか 明るい挨拶、「はい」と明るい返事ができているか コソコソと話したり、暗い顔をしていないか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
33		健康であるか やせすぎ、太り過ぎ、タバコの吸いすぎ、夜ふかし、暴飲暴食など健康を損っていないか、身体の健全のために運動や食事などの自己管理が出来ているか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
34	責任感	協会への報告を適切に出来るか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
35		仕事を最後まで一生懸命やろうとしたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
36		与えられた仕事や自分が決めた仕事をきちんと最後まで一生懸命やったか。他人任せにせず、小さなことも手抜きをせず、丁寧な仕事ができるか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
37		ルールや約束を守ったか、常識ある行動ができたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
38		書類提出や約束事項、時間厳守、自己管理、車両管理や報告など、一般常識(交通ルール)も含めてルールを意識し、約束を守ったか、常識ある行動を取れるか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
39	能力	業務知識や能力向上のために積極的に勉強したか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
40		協会に対しての創意工夫や改善提案を心掛け、実施したか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
41		自分の考え方をきちんと伝達・具申できたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
42	仕事力	担当業務を間違いなく正確に処理できたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
43		担当業務を期限内に処理出来たか 講習のスケジュールを超過することなく時間内に行うことができたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
44		手際よくテキパキ(迅速)に仕事できたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
45		上司の指示や協会の方針をしっかりと聞き、前向きに任務を遂行したか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
46		協会の理念と長期ビジョンを理解して、常に意識しているか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
47		お客様に対して、正しいサービスが出来たか お客様の目標達成の為に応援する行為が正しいサービスである お客様にカリキュラムをそのまま押し付けるものではない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
48		整理整頓	身の回りや会場の整理整頓に努めたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
49	朝の会場清掃、帰りの際の清掃など、きちんと掃除ができたか(導線・お手洗いなど)		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
50	節約意識を持って、経費削減に貢献したか		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
51	規律性	余裕を持って行動をしたか(30分前の行動開始、会場準備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
52		無断で欠勤、遅刻、早退をしなかったか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
53		挨拶(挨拶をする順番を間違えていないか)・礼儀が会員として適切であったか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
54		言葉遣いがしっかりしていて、相手に良い印象を与えているか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
55		服装や身なりが指導者として適切であったか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
56		相手の批判、陰口などを言わず、いい精神であったか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
57		すぐ不機嫌になったり、感情的(マイナス)な言動がないか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
58		勤務態度で上司、先輩から注意されなかったか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
59		食事中、会議や商談など、下を向いたり腕組み、足組み、肘をついたりしていないか。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
60		問題外の事を考えて会議、講習の本質を外さなかったか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
61		相手の目を見て、きちんと話ができる姿勢を持ち続けたか	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
			カウント										
			x1	x2	x3	x4	x5	x1	x2	x3	x4	x5	
			小計										
			合計										

講習準備・事務局との連携

No.	検定項目	評価基準項目	評価	評価	備考
62	会場環境の確認	天候、道路事情等による開催遅延の有無	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
63	受講者・委託講師の受け入れ体制	事前連絡、事務局への資料の作成、提出、名簿等の準備	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
64	使用機材、設備点検	前日点検、品数確認、照明設備等 充電コーナーの配置・状態は適切か(使用済み、充電済みを分けるなど)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
65	体調管理、安全確認、(感染防止)	受講者の体調、危険物等の排除 衛生対策	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
66	時間管理	効率的な事前準備、定刻開催	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
		カウント			
			x1 x2 x3 x4 x5	x1 x2 x3 x4 x5	
		小計			
		合計			

身だしなみ

No.	検定項目	評価基準項目	評価	評価	備考
67	講師証明証	受講者に見えるように携帯	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
68	服装・靴	・DPCA・RUSEA指定のポロシャツ ・シャツの場合は白か黒のアームカバー着用 ・靴 作業靴・スニーカー 黒 (色付き靴はNG) ・ズボン 黒か濃い紺色	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
69	ヘルメット・ストラップ	・ヘルメット 白 ※直上方が見え難い為、ヘルメットの下に帽子は被らない / 首にタオルを巻かない ストラップはシンプルなものを使用 安全のために着装する、ストラップについては受講者様のプロポのホールド状況に合わせて着脱を判断すること。 空調服は安全第一で着脱を判断すること	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
70	アナウンスの用語の統一について	用語は共通のものを使っているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
		カウント			
			x1 x2 x3 x4 x5	x1 x2 x3 x4 x5	
		小計			
		合計			

講習全般

No.	検定項目	評価基準項目	評価	評価	備考
71	的確な指示と説明	飛行中以外は受講者様の目を見てしっかり語りかけ反応を見る。飛行中は機体をしっかりと見て、短い言葉で明瞭に指示・説明する。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
72		動作毎の明確な指示・説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
73		苦手な飛行に対する的確な指導	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
74		飛行時の修正指示	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
75		担当班全体への説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
76	指導時の対応	講習会のカリキュラムを理解	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
77		講習会全体の時間管理 変更がある場合は事前に説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
78		各受講者への適切な時間配分	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
79		安全運行管理・危険回避要領の理解	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
80		講師の指導に適する立ち位置 休み時間、食事を含め適切な距離を保っているか (基本的に立って指導する 壁に持たれない・座らない プロポから手を離さない 検定中も同様である。低い位置から見る必要があるときは安全の範囲で)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
		カウント			
			x1 x2 x3 x4 x5	x1 x2 x3 x4 x5	
		小計			
		合計			

説明						
No.	検定項目	評価基準項目	評価		備考	
81	機体説明等	機体説明	使用する機体の種類と特徴 安全第一 現場を想定して、ヘリパッドにて説明ができていますか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
82		バッテリー取り扱い・取り付け	端子の保護、取付状態の確認、保管要領	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
83		電源のON/OFF	適切な順序	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
84	設定項目の説明	画面の見方	画面にある項目の説明 画面を右回りに順に説明 最新のDJI Flyも説明するとよい	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
85		機体ステータス	ステータスの見方 座学の補足説明 異常ステータスの種類と説明、コンパスキャリブレーションの説明などチェック表を使用し漏れのないように行う 安全のため、また、現場を想定して「ヘリパッド上」にて説明ができていますか 無人航空機を飛行させる前に確認しておくべき事項(外観チェック・機能点検・安全対策)を漏れのないようにしなければならない どんな機体にも共通して確認しておくべき事項を説明し、教習機に当てはめて、必要な事項のみを簡潔に説明すること。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
86		MCパラメータ設定	フェイルセーフ 講習ではホバリングにしておく 屋外では適宜ゴーホームに設定できているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
87		ビジュアルナビゲーション設定	ビジョンセンサー 衝突安全は解除 詳細設定はそのまま 電池交換時には毎回一度Pモードに入れてからAttiliにできているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
88		送信機設定	スティックモード 確認切り替えは手早くスムーズに行えているか、迷うことはないか リンク切れが起こった際は必ず再確認する	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
89		機体のバッテリー	電圧と温度・アラーム設定の説明ができていますか 「放電テスト」ステータスバーを見て確認 急上昇時に黄色、赤表示注意 低電圧設定注意	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
90	機体準備	送信機の保持	持ち方や指の位置など なぜそう持つのか、理由が説明できているか 手の大きい人、小さい人は適宜合理的な方法で	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
91		各ボタンの説明	スティック以外のボタン(ボタンに割り当てができるなど)・ダイヤルの説明(カメラの上下、明るさ補正)はできているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
92		始動・停止方法	モーターの指導方法と止め方 緊急停止方法CSCの説明(CSCは受講生がモーター停止操作と間違いやすいため知識だけに留めるよう説明)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
93		プロペラ取り付け	プロペラの違い、取り付け方・チェック方法	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
94	モード確認(Pモード)	モードの説明	モードの違いを説明 適切にできているか、受講者様がプロボを見やすい位置で、実際に動かしているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
95		スティックモード決め	平面移動と上昇・下降 モード決めが適切に、受講者様の動きを見て、どちらがよいか理論的に説明できているか。どちらか勧めることはしない	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
			カウント	x1 x2 x3 x4 x5	x1 x2 x3 x4 x5	
			小計			
			合計			

指導法						
No.	検定項目	評価基準項目	評価	評価	備考	
96	飛行練習 (Pモード)	左右方向でのスクエア移動	左右に90度に向けた状態でスクエア移動 奥行方向のズレを見逃さないように指導	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
97		対面方向でのスクエア移動	対面に向けた状態でスクエア移動 前後左右への舵が逆になることの説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
98		進行方向でのスクエア移動	進行方向へ旋回しながら前進移動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
99	飛行練習 (Aモード)	スティック操作	指を離さず操作することの注意点 微妙な指の離れを見逃していないか (演技が終わり、スティックを持ち直す理由で指を一時スティックから離してもよい)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
100		飛行モード説明	Aモードの説明(Pモードとの違い)(Pモードは指を離した状態で静止するが、Aモードは舵を入れた状態で静止、それを基準に舵を抜き足して操縦する)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
101		離陸	安全確認・始動・離陸(目線の高さ)1m程前方で舵の確認を必ず行う 声を出して指差し確認が全方向できるように指導しているか 具体的に「右よし、左よし、後方よし、前方、上空、足元よし、安全確認よし」と、しっかりとと言えるよう、一緒に練習しているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
102		ホバリング	Aモードでのホバリングの説明 操縦中は指をスティックから話さないように指導できているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
103		平面移動	移動時の一定の速度保持		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
104			減速と停止の方法		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
105			停止位置調整とホバリング		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
106			縦移動時の機体の左右調整		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
107			奥行き距離感覚		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
108			斜め移動時の目標への調整		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
109	V字飛行	パイロンからパイロンへの直線軌道		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
110		横移動基軸からの下降と上昇(受講生が地面も見ているか確認しているか)		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
111		V字飛行時の奥行の調整		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
112	着陸	着陸時の方法とプロペラ停止確認「プロペラ停止確認」のコール忘れを見逃していないか		1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
113	飛行の組み合わせ	水平移動と下降・上昇	前進と下降・上昇(受講生が地面も見ているか確認しているか)回転方向は適切か(奥へ向かって回転する)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
			カウント			
				x1 x2 x3 x4 x5	x1 x2 x3 x4 x5	
			小計			
			合計			

実技検定					
No.	検定項目	評価基準項目	評価	評価	備考
114	デモ飛行	正確な飛行、明快な説明、可否基準の説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
115	飛行指示	的確な飛行指示	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
116	介入の有無	不要・過度な介入をしない 危険時の適正な介入(外側への逸脱は安全のため早めに操作介入すること、事前に受講生に説明)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
117	検定の見極め	評価基準に基づく適正な見極め	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
			カウント		
				x1 x2 x3 x4 x5	x1 x2 x3 x4 x5
			小計		
			合計		

説明・指導法						
No.	検定項目	評価基準項目	評価		備考	
118	8の字飛行	スクエア移動・8角形移動	8の字飛行への導入（4角、8角、円と進める）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
119		右側の円を描いての飛行	まずは円を描いて見るようにする（前進ラダーのみで）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
120		円軌道の修正	機体の向きや位置を調整させる（エルロンを入れる）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
121		左側の円を描いての飛行	右側と左側の違い	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
122		8の字飛行	左右連続しての8の字飛行	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
123	目視外飛行	目視内飛行と目視外飛行の違い	画面を見る操作が目視外となる説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
124		目視外飛行の注意点	飛行ルートの事前確認・法律上のルールの説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
125		操作時の画面の見方	機体の高度・向き・距離の確認方法	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
126		カメラの設定・操作方法	プロポダイヤルの操作方法	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
127		ボタンの操作方法	指でのダイヤル操作で録画・撮影の方法の説明 アプリの画面上での操作で録画・撮影の方法の説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
128		離陸	目視内で操作（360度確認しつつ上昇）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
129		確認者と操作者	機体確認しながらの指示と操作方法	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
130		目視外での安全確認	機体を旋回して安全確認（360度を高度別に行う 地面の状況を見る低高度と周囲の状況を見るための高高度で）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
131		目標地点の確認・移動	旋回やカメラ操作での確認、安全確認（45度俯瞰も）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
132		目標地点上空	カメラを操作しながらの移動と撮影	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
133		緊急時の対応	着陸地点までの安全確認と移動	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
134		目視外での着陸	指示と操作で目視外着陸（チルト水平、モータ停止）緊急時という設定なので素早く着陸するように指示できているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
135		夜間飛行	夜間におけるセンサーの状態	夜間でのセンサー状態の特性の説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
136			夜間飛行時の注意点	屋間のロケハンの重要性・目視外との併用は不可ということの説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
137	夜間時の飛行の不安定さ		センサーが効かない時の機体の動き（上下にも不安定となる）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
138	着陸ポイントの照明		照明の重要性	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
139	離陸・ホバリング		範囲内飛行（コーン範囲から逸脱したら操作介入）と高さの制御（ビジョンセンサーが聞かない場合はAttiモードでの制御）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
140	平面移動		前後左右の移動（範囲内で飛行すること）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
141	着陸		バウンドした際の機体の下ろし方（モーター停止までしっかり操縦）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
142	修了		修了所見	評価、個人の癖、今後の練習方法等	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

カウント

x1	x2	x3	x4	x5	x1	x2	x3	x4	x5
小計					合計				
3									

全体を通して					
No.	評価基準項目	評価		備考	
143	受講者様の習得率を測る動きに関して、適切な時に適切な場所	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
144	目線、手元、安全確認のときはしっかり確認しているか？を注視できていたか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
145	受講者様、会場、他チームの状況を講習中を通じて見れていたか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
146	不測の事態、イレギュラーな事態への対応は、関係者の皆様の協力を仰ぎながら出来たか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
147	チーフインストラクター本人が楽しんでできているのか？苦しんでいないか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
148	負荷がかかる時間帯でも気を抜かずに行っているか？服装は乱れていないか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
149	DPCAの研修であるということ意識して行動できているか。DPCA全体を考え行動できているか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		
150	自社、個人の利益のための行動が散見される候補者にはDPCAとしての認定・推薦を出す	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5		

カウント

x1	x2	x3	x4	x5	x1	x2	x3	x4	x5
小計					合計				

総評

--

採点

人間性	
行動チェック	
講習準備・事務局との連携	
身だしなみ	
講習全般	
説明	
指導法	
実技検定	
説明・指導法	
全体を通して	
<b>判定結果</b>	<b>/ 750点</b>

合格基準 : 全評価項目750点中675点以上で合格